



会報



東京出雲崎会

会長 佐藤 憲一

発行者 内藤 久吉

〒188-0013 西東京市向台町4-21-45-418

電話 0424-69-1426

平成18年度

第8号

1月吉日

盛大に開催

東京出雲崎会総会

240名が集う



懐かしい

近所の顔

がそこにある



恒例の東京出雲崎会の定時総会と大変な盛り上がりを見せている懇親会が平成十七年三月十二日(土)錦糸町駅前のロッテプラザの間に開催されました。

当日は近藤参議院議員や小林出雲崎町長の来賓の方々を迎え、会員合わせて二四〇名が参加、鳥井前会長・津山前幹事長の勇退を受けて佐藤憲一氏が会長に選任、又幹事長に内藤久吉氏が就きました。

懇親会では、同級生別の各テーブルで談笑や席を移動して懐かしい近所の人との出会いに抱き合ったり肩を叩きあったり最高の思い出の一日となりました。

平成18年度 東京出雲崎会

「定時総会・懇親会」開催のご案内

- 19 4 14日(土) 東武ホテル
- ◎日時…平成18年3月11日(土) 受付開始…午前11時より イベントホール
- 開会…12時 閉会…午後3時30分 錦糸町
- ◎場所…錦糸町「ロッテプラザ」葵の間
- (東京都墨田区錦糸4-6-1 ☎ 03-3625-5101)
- ◎会費…合計12,000円。 1-2-2 03-5611-5511
- (年会費1,000円+総会費11,000円) 09080088077(私)
- お問い合わせは……電話 0424-69-1426 [内藤]

獅子舞に幼き時代の故郷を思い出し歓声が上がり、お賽銭も飛び交う会場



還暦・古稀・喜寿を迎える人達が「星影のワルツ」を合唱

(このページの写真は全て昨年の総会・懇親会での撮影です)

ホテルのほう

新会長挨拶

会長 佐藤 憲一

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

日本経済も昨年より上昇気運にあり、本年は明るい年になる事と思います。

東京出雲崎会には井之鼻会と云う町内会がありますが、昨年十一月に石井町俱樂部が発足致しました。



誠に目出度うござい
ます。
東京出雲崎
会では少し

新幹事長挨拶

幹事長 内藤 久吉

六十四年の永きに渡り先人の
ご尽力とご努力に依り営々と築
き上げて参りました歴史と伝統
を誇る我が東京出雲崎会であり
ます。

益々の発展と盛況を衷心から
願う者であります。会員数も八
百人にならんとしております。



唯、数さ
へ多くなれ
ば良いと云
うものでは
なく充実し
た中身の濃

でも会員を増やす一つの手段としてインターネットを開設する為には色々と検討をして参りましたが未だ結論が出ておりませんしかし、本年中には開設をした
いと思っておりますのでその節
は大勢の会員の皆様からの多数
の情報等の提供をお願い申し上
げます。

懐かしがりやの会としての理
念を守りながら、同じ新潟県人
として、各分野において優秀な
人材が豊富な新潟県人会様や郷
人会様との出会いを大切にしてい
れば皆様方の好きな分野も広が
り、人生も少し楽しく変わる事
と思います。

い会ではなければなりません。
会員相互の信頼と友情は勿論、
故郷出雲崎を熱愛する共通認識
を持ち続けねばなりません。
心の触れ合いを大切に致しまし
よう。

諸先輩のご苦勞と、ご配慮を
拝見して参つた者として隆盛を
維持継続してゆかねばなりません。
それには皆々様の更なる友情
とご理解、ご支援ご協力が必要
不可欠でございます。会の伝統
を重んじ趣意目標をよく理解し
一層のご尽力をお願いするもの
であります。

一段の飛躍の手段として、先
般我が出雲崎会のホームページ

今後共一層のご支援・ご協力
をお願い申し上げます。ご挨拶
とさせていただきます。



前会長の鳥井氏と新幹事長の津山氏と
新旧交代の堅い握手を交わす新会長と
新幹事長

の開設を提案致しました。
早速に委員会を立ち上げて頂
き、準備委員会の会合を持ち、
着々計画を立て、貫つておりま
す。

IT世代の今後の会員加入と
相互連絡、コミュニケーション
を円滑に進めてゆくのに強力な
力となると考えられます。

会員諸兄姉には是非共ご期待
願いたいと思っております。

町当局及び各諸団体とも連絡
を密に取り、一層の連携と相互
理解を深め二人三脚で仲良く協
調してゆく所存であります。

皆々様の積極的なご提言・ご
提案を心よりお待ちしております。

ホームページ(HP) 開設を目指して只今努力中!!

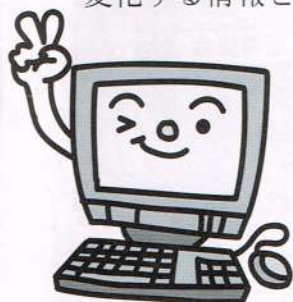
私達は今まさにIT(インフォメーション・テクノロジー)社会の真っ只中でくらし、
居ながらにして世界の情報を瞬時に受け取ることが出来ます。

私達の広報媒体は会報誌「東京いずもざき」で、毎年2月初旬に『総会・懇親会』開催
のお知らせを兼ねて皆様のお手元にお届けしております。しかし情報は日々刻々と変化し
現在の広報媒体では、大勢の方々に的確な情報をお伝えする事ができません。特に楽しい
サークル活動やイベントの開催は、年度の中程から後半に集中しております。時々刻々と
変化する情報をホームページにて的確に記入し、皆様にお伝えしたいと思います。

また「東京出雲崎会」の存在と活動状況を大勢の若い方々に把握して
いただき、お仲間に入って頂ければ大変嬉しく思います。

素人の作るHPになりますが、是非ご意見をお寄せ下さい。

尚、HP制作に興味のある方は是非とも、私達に智恵をお貸し下さい。
一緒にやりませんか、ご連絡お待ちしております。



各委員会の活動方針

組織委員会

組織委員会は東京出雲崎会が永遠に継続する事を期して、出雲崎町出身者の情報を収集して会員をカンユウする事を目的としています。

委員会が機能していないとの声も強く聞かれますし内藤新幹事長の「全委員会とも活発に機能させたい。その為にも特に若い方々の知恵と行動力を借りたい」との言葉に呼応してまいりたいと思います。

委員長 金子 照枝
副委員長 石井 誠
本間 治 松永 学
吉水 弘志 柿倉 正義
矢島恵美子 小黒 正明
中川 光彦 磯野清之助
千代田耕治 福井 満
小林 能成

運営委員会

当委員会は新しい陣容で取り組んでまいりますので委員を紹介いたします。

委員長 大橋 幸子
副委員長 中川 久雄
" 中村 栄子
委員 川鍋多喜子・寺村清一郎
田口 晴美・松浦 良雄

若いメンバーが加わりフレッシュな提案も出来ればと思っておりますが「東京出雲崎会」の総

会及び懇親会に関わり一切の運営・企画をはじめ各委員会とも連携を密にとり乍ら「東京出雲崎会」の発展と充実を目指して参ります。

どうか皆様の御意見、御要望をお寄せ頂きますようお願いいたします。

広報委員会

委員長 加藤 正二
会報も充実しました。今年は「広報活動の拡充」と云う意味合いからホームページ(HP)開設に向けて只今準備中です。

若い方々にも親しんで頂ける「東京出雲崎会」を目指し総力結集！頑張ります。

◎会報編集長……岡田 齊
" 副編集長……今井 妙
委員……伊藤勝、小林常高
石井誠、東條国栄、東條玉英、中川久雄

◎HP編集長……東條 国栄
" 副委員長……中川 久雄
委員……松本登美子、中村 栄子、宇賀神登代子、今井 妙

文化委員会

会員間の親睦と文化活動を推進してまいります。その一環として旅行や写真展等も開催出来ればと考えております。

それには、入念な調査と計画

石井町倶楽部を設立

平成17年11月6日に35名がにぎやかに集う



石井町倶楽部設立の経緯は、毎年三月に開催される『東京出雲崎会・定時総会』で石井町出身者が、ここ数年会うたびに「今度石井町モンを集めて、宴会やろいね!」と言うのが始りである。

昔、石井町の子供達は、登校・遊び・勉強等みんな何かする時は、まず良寛堂に集まる。良寛堂では、三角ベース・相撲・ビー玉・パン(メンコ)・助け鬼等の鬼ゴッコ・縄飛び・お手玉・オハジキ・ママゴト等々……、当時の遊び全てが出来た。又、石井神社は、夏休みの宿題主要四科目・工作・図画等々の勉強する場所とチャンバラ等の山遊びの拠点でもあった。

それらの思い出を沢山もって、第一回倶楽部懇談会は、十一月六日の日曜日、御徒町の吉池池田屋にて、五十四才〜七十才迄の三十五名が参集しました。始めは丁寧語であったが、三分もたない内にお互いが、子供の頃の名前で、呼び捨てに変わった。時間を二回も延長して、12時〜16時半までの四時間半に渡って話に花が咲いた。終りに出雲崎おけさを唄い踊り。「又、来年も!」の掛け声に「オウー」と全員一同の雄叫びで、めでた終了。

(誠)

が不可欠です。

企画が決まりましたら皆様、ぜひご参加下さい。

委員長 東條 国栄
副委員長 今井 妙

委員 山田 次則・佐藤 安孝
佐藤 信行・小林 常高
小黒 正明

手始めにとの思いから昨年十一月二十六日の土曜日、都合の取れた編集部員で北鎌倉の円覚寺と東慶寺をカメラ片手に散策にむかいました。

当日は小春日和の暖かい一日となり、紅葉もさかりの見ごろ



東慶寺境内Ⅱ(北鎌倉)

しかし、そんなことから通勤ラッシュ並みの人出の中で気ままな散策は出来ず、そのうえ昼食の食事処も確保できない状況でした。

今後の企画運営の面での必要事項を一つ学びました。

会計委員会

委員長 伊藤 勝
副委員長 東條 玉英
委員 保坂 早苗

予算執行の適正化に努力致しておりますが、なかなか厳しい予算状況でもあります。

本年はホームページ開設等の話題もあり「東京出雲崎会」の発展の為に会員皆様の良きアイデア募集と会報への広告参加及び大いに寄付金等に御協力賜りますようお願い申し上げます。

喜寿

「辰巳会」

今、青春だいいね!!

六月十七日、ちゃんちゃちちやん(祭)の日、俺った辰巳会(昭和三・四年生れ)は三十九名で喜寿の会を開催す。

残念乍ら仲間が多勢ジンドへ行つてもたすけ羽黒町の慈観寺にて黙禱、冥福を祈つたんです。こて。「みよや」で、難儀した人生と日頃の憂さを忘れて、昔の悪童に還つて、そりや楽しい一刻を過ごしましたこてね。終戦時十七だったんだでね。あの頃の事を思い出すとせつねえ事だらけで、へえもう、よう生きて来たなあと、達者で今日を迎へられたもんだなあと感慨もひとしおだいいね。「おめさんも爺さ爺さしたねつかね」「おめさんも頭、何も毛がねえなったねえ」「それ云うないね。お互い七十七だでね」「曾孫何人だね」「俺、五人になるいね」「〇〇は八人だ」と「××はわあけげにしてるねつかね」「そらそらこてね、若い嫁もろたすけ若造りにしてなんだいね」「いっつもは何してるね」「姉ちゃおめさん七十前げだねつかね」「馬鹿こくてねが、ばさだいいね。染めて来たんだいね、笑止げもねえ、やらこてえ!」「□□はあんべがわありいげだ」と「何ねせ体だけは氣いつけんと、本

当にさね」「あん人は可愛げで男子は多勢好きな者いたこて」まあ話が尽きず、ぼつきやがつて定刻とつくに過ぎてしてもてさ。又の再会を誓つて名残り惜しいども散会としたこて。何時迄も青春だこて。青春時代の真ん中だいいね。



喜寿 同級会 平成17年6月17日 於 出雲

「人生は足し算」

佐藤恵美子

「はこの会」

昭和二十六年三月出雲崎中学校を卒業した私達は古稀を迎えました。町が最も賑わうお盆の十六日恩師下村先生をお迎えして古稀を祝う会が開催されました。

古稀を迎えて

卒業の頃将来の夢を語る時、人生五十年という言葉葉を盛んに口にしていたのですが当日は八十三名もの同級生が出席。尤も卒業時百九十三名が在籍していたのですから出雲崎中学にとつて団塊の



学年でもありました。満面の笑顔で「みよや」の玄関に入るあの人の顔はとても七十歳とは思えない軽やかな足どりと姿勢です。しかしその会もアツという間に終り今は一抹の淋しさを感じています。しかし、この会に出席出来たことを感謝し、これからは自分の出来ることを誠実にやり明るい気持で前向きに生きようと考えております。中学三年の遠泳大会で井鼻からのコースを泳ぎきったのにクロールの息継ぎは出来ないまま。なんとかこの息継ぎをマスターしてクロールで泳いでみたいという夢を抱いておりますがさてその可能性は……。

還暦

「クラブ14ネット」

東條 国栄

昭和三十六年三月、出雲崎中学校「桜ヶ丘」を第十四回卒業生として巣立った私達も六十歳と成り、還暦会を佐渡を眼前に望みながら右手には弥彦という本間に素晴らしい環境の我が故郷で、元気いっぱい楽しく、新装成った「佐平次」にて集いました。

私達は敗戦年を挿んでの誕生で、新生日本第一号として、我が国の隆盛期には微力とは思いますが個々寄与し、昨今の経済停滞の中で還暦を迎える事と成り、何か深く胸に來る物を覚えます。還暦会当日は梅雨時の「六月十八日」にも関わらず快晴に恵まれて皆上機嫌での開会となりました。

十八年度はこちらの方々です

喜寿Ⅱ「巳午会」

(昭和二〇年三月卒業)
おめでとうございます。

古希Ⅱ「二七会」

(昭和二十七年三月卒業)
おめでとうございます。

還暦Ⅱ「三七寛の会」

(昭和三十七年三月卒業)
平成十八年六月十七日(土)
出雲崎町「まる」にて



参加人員は三十七名(女性十九名)が集いました。御祝いで元幹事代表遠藤吉夫氏の

挨拶。亡き友へ黙禱 恩師仲野照也先生の御言葉があり、乾杯後は大いに懐かしい

大山詣で……

佐藤 憲一

私がこれをはじめたのが今から二十五年ぐらい前になるかと思えます。

五十五年続いている本亀開心講に入り毎年七月の下旬の暑い季節に標高一二五

二米の山頂を目指して富士山を仰ぎながら汗びつしよりで登りいっぶくし眼下に伊勢原の町並と相模湾を一望出来、心が洗われる思いでした。

一人でそんな気分になって良いのかと同級生の佐藤敏夫君とその後津山君も誘い今では敏夫君の家に途中下車をしてご馳走になり、宿坊の「おおたに」さ

んで宴会です。

今では途中下車が出来て楽しみが一つ増えました。

翌日は下社「大山阿

夫利神社」で祈禱していただいた後、宿坊に戻り風呂に入り昼食をとり解散です。

昨年は足腰が弱くなり下社までケーブルカーに乗るようになり残念ですが、みやげ店を営む百四才の鈴木喜久治さんもおられますので、それに肖って今後



気の合う仲間達

東條 玉英

東京出雲崎会を通して集う機会が多くなりました。



気心知れた仲間は楽しくVサイン

写真は銀座六丁目・夢ふうせん（磯田美枝子ママ・石井町出身）で一枚です。

兄、国栄と小黒良子さん・私達同級生の宇賀神さんと田口さん、それに小山君の六人で楽しいひととき&歌声披露？

ママの幅広い顧客人脉と人柄が雰囲気をつくり故郷の紙風船・お魚等々懐かしい香りにも誘われて越後出身者も集うとか！ヤンチャな昔の自分に返るかも？

銀座6・5・16

三楽ビル5階

☎03 3571 2891

夢ふうせん

ねらの會

越後湯沢温泉

高半で同級会

出雲崎中学校第10回卒業生（昭和32年）で構成される「ねらの會」では、平成十七年十月二十九日（土）越後湯沢の雪国の宿・高半で開催。同会のゴルフコンペを終えて駆け付ける人など三十九人が元気に集いました。

開催前に記念写真（左写真）を撮り、今は無き同級生と恩師に黙祷を捧げたのち宴会が始まりました。

美味しい料理に舌鼓との思いもつかの間、懇談の輪が部屋のあちこちに広がり移動します。話はつきず二次会へ、歌も加わり勢いは衰えません。その後も



ひと部屋を開放した「談笑室」に集まり朝方の四時近くまで話し込んだ人もいました。翌日は自由行動となり三国峠から伊香保に向った人や清津峡から六日町の蕎麦屋に足を

伸ばした人など、各々楽しい思い出をおみやげに家路につきました。

赤坂で20回目の同級会

東京夕渚会

代表幹事 中川久雄



毎年十一月の第二土曜日に東京赤坂にて行っている「東京夕渚会」の二十回目の集いが

十一月十二日開催されました。この「東京夕渚会」は出雲崎中学を昭和四十年に卒業して、関東近辺に住んでいる人たちで

東京やぶち会

花の上野に集う

平成十七年四月、桜満開の上野の丸谷ホテルにて東京やぶち会のメンバー十九人が集まりました。

獅子舞や南京玉簾などを見ながら上京した当時は思い出し、思い出話にも花が咲き、楽しい会食会となりました。

又、上野公園で花見をしながら散策、新しい思い出を刻んだ一日となりました。



作っている会です。とは言っても当日になると出雲崎からはもちろん、大坂・仙台からも参加して下さいます。今回は八月に出雲崎で「夕渚会・中学卒業四十周年」の会を開催した影響か参加者が例年より少なく二十四名に留まりましたが、内容は例年に比べても遜色のないほど盛り上がりしました。一次会は例年通りレストランを借り切って午後一時より始めて五時まで、しゃべり・飲み・食べ疲れそして二次会は、ほとんど全員でカラオケに行きまして、三時間程歌い・踊り・飲み・歓談を致しました。その後も別れ難く有志で夜の赤坂に繰り出した挙句、自宅にたどり付いた時はすでに午前様。……アア、十二時間もの長い、しかし非常に楽しい一日でした。

自在さと精度を求めて半世紀！

中川温度計加工所 中川 宏一氏



熟練の技術が光る中川宏一氏ご夫妻

「細かい作業をやってくれる女房がいなければ、ここまでやってられなかったですよ」「先生は主人。見よう見まねで覚えた仕事」お互いに認め合い強い絆で結ばれたご夫婦の仕事場は約6畳。そこで誕生した温度計が活躍する世界は広い。身の回りの温度計の主流がデジタル式になっても、其処から生まれる温度計は間屋を通して数多くの大企業に納入され、船舶のディーゼルエンジンやテーマパークの空調機等に幅広く用いられている。業務用温度計には特殊な形状や高い精度が求められることから、まだまだ手製のものに需要がある。一本の温

度計が出来るまで十二の行程があり全て手作業。

二十三歳の時上京し「この仕事なら自分に合っている」と思ったのが温度計作り。最初の一年間はまるで使い物にならず、工場2軒に勤めて技術を身に付け独立。以来温度計作り一筋でここまで来ました。

目盛りの基準となる0度のポイントを決めるために氷につけるが氷にも温度のバラツキがあるので溶け出す寸前のものを使う。100度のポイントも同様で、沸騰したお湯でも温度計のさし方で微妙に結果が違って来る為、熟練した技術と豊富な経験が必要だという。「熱にはい



→三鷹市より平成十七年十一月二十四日技能功労者として表彰される

つも苦労させられます。温度計は精度が命！。ここが信頼の要です。から、絶対に妥協は出来ません」宏一さんの言葉は、職人としての強い信念を感じさせる。
(中川宏一氏は住吉町出身)

獅子頭彫刻に魅せられて

吉水 弘志



吉水氏製作の布袋様

十数年前、砺波・金沢・能登等北陸方面に旅行した際、砺波で作られている欄間がすばらしい彫刻だとの話を聞いたことを思い出し、後学のためにと立ち寄りそこで見た獅子頭のすばらしさに圧倒され感動し写真を五・六枚撮らせてもらいました。

その後は、金沢の郷土資料館のような場所です。獅子頭を見学、そこでは、丸太より完成までの行程が展示され、それを見た時、素人の私でもなんとか彫れるような気がした。

正月になると子供の頃小さな獅子頭で遊んだことを思い出し早速田舎より送ってもらい、それを参考に彫り始めたのが獅子

頭造りとの出逢いでありました。

後年、能面や仏像を彫っている友人に出逢い能面展や美術館等を見歩いたり、又、技術的な指導を受けながら何面か彫って見たが自分には、どうもあわない様なので休止しました。

ところが友人の新築祝いに獅子頭を贈ることになったことから再度彫り始めて現在に至っております。

彫っている間は没頭出来ますのでストレス等が溜まらないことが効用の一つではないかと思われまます。

今総会で

お披露目か？

この度、東京出雲崎会総会の懇親会での「獅子頭を大きく」との声がありましたので、現在総会に間に合うよう取り組んでおります。総会当日皆様に喜んで頂ければこれ以上の喜びはありません。

お店紹介
家庭料理と
田舎の味
「かあちゃん」

J R山手線東鴨駅を下車江戸六地蔵の一つ東鴨地蔵を左手に見ながら東鴨地蔵商店街通りのアーケードをくぐる。

そこは婆ちゃん原宿竹下通り、ズーと昔、少女だった婦人達でごったがえす。特に四のつく日は。商店街を少し歩くと右手に高岩寺のとげぬき地蔵尊、その前には昔少女の長蛇の列。更に暫く歩くと郵便局がある。

その手前の路地を右折して五十mのところには井鼻出身の中尾芳子さん経営の「かあちゃん」がある。この賑わいの一角の中で郷土出雲崎の言葉・煮付の味と香りが広さ十畳程の店内に漂う「かあちゃん」の店に入ると田舎に居るかと錯覚する程で、気が休まる。店には東京出雲崎会会員の方々も出入りしている。

開店は午後六時頃からで日曜日は休業です。



田舎の味が楽しめる店
「かあちゃん」

平成17年度

こども音楽コンクール

東日本優秀演奏発表会

昨年十二月十一日(日) 東京・文京シビックホールでTBS等の主催による十七年度のこども音楽コンクール・東日本ブロックの優秀演奏発表会が行われ、各方面より選ばれた優秀校。小学・中学合わせて二十八校が出場しました。

出中・吹奏楽部が優秀賞

出雲崎中学校・吹奏楽部(吉成恭子顧問、竹内萌部長)は新潟県吹奏楽コンクール中学校Bの部で金賞を受賞。又、西関東大会にも出場するなど素晴らしい活躍をしており、八月に群馬県で行



見事「優秀賞」に輝いた
出雲崎中学校の吹奏楽部の
熱演風景(文京シビックホール)

われた地区大会で代表に選ばれての出場となりました。

「こども音楽コンクール」は小・中学生を対象とした楽器や歌のコンクールで、今回で53回目を迎える歴史ある大会です。当日は午後からの管楽合奏部門に出演「ハンガリーの風景」から演奏。日頃の練習の成果をいかんなく発揮、悔いのない見事な演奏で輝かしい「優秀賞」を獲得しました。

郷土訪問旅行に参加

丸山 保

たらちねの

ははのかたみと 朝夕に
さどのしまを

うちみつるかも 良寛

県人会主催の郷土訪問旅行は今回は佐渡島に行つて来ました。

私達は、朝夕に佐渡や弥彦連峰を眺め暮した幼少の思い出が強く、外から見た佐渡と、内に入つて見た佐渡はやはり異なつた印象をうけました。佐渡は全てが芸術・芸能の地で、順徳上皇、日蓮大聖人、観世元清など都文化を佐渡で開花させたもので、また、出雲崎と係わりの深い佐渡金山は、岩石の中の砂金を選び分ける幾重もの手順で得た金塊が、出雲崎の港で見る華やかな情景とは裏腹の過酷な様子と、江戸幕府を支えた佐渡奉行所も見所であった。

後日、出雲崎中学校の岩根校長と吉成先生より、声援と心遣いにたいする感謝状が当会に届きました。演奏後、応援に駆け付けた東京出雲崎会の代表たちに、にこやかに挨拶する吹奏楽部のみなさん。

佐渡特有の文化・伝統・能楽なども見る事ができた。出雲崎とは別のおけさ源流の地としての立浪会のおけさ踊りは格別の風格を感じ、見事であった。佐渡は海岸線が美しく、尖閣湾や外海府など、自然と調和している所で、出雲崎から見える金北山のスカイラインから見た両津湾は美しい。帰路新潟スタジアムで、アルビレックスとマリノスのサッカー戦を応援・1対0で勝つて、気分良く帰京した。



演奏後、応援に駆け付けた東京出雲崎会の代表たちに、にこやかに挨拶する吹奏楽部のみなさん。

東京新潟県人会
文化委員会主催

「第七回文化祭」を開催

東京出雲崎会から
四名が出品



「爽快」

岡田 齊 撮影

「ひと休み」

石井 誠 撮影

「春夏秋冬」

中川 栄吉 書

「翁」

吉水 弘志 作

佐藤憲一宛
電話03(3651)

丸山保宛
電話047(353)
3790

本年も十一月頃に第八回文化祭が開催される予定です。多くの皆様方の出品を主催者の東京新潟県人会では心から期待しております。出品を希望される方は十月頃に左記の通り東京出雲崎会の丸山名誉会長又は、佐藤会長にお問い合わせしてください。

第七回目を迎えた東京新潟県人会・文化委員会主催の文化祭が十一月二十五日から二十七日の三日間、上野の新潟県人会館で開催されました。今回は特別企画として小泉八雲没後百周年記念の種々の展示や第三回目となる文化フォーラム&懇親会も行われました。会場を訪ねた人達には、ひょうたんなどの記念品が手渡され笑顔で観賞です。展示作品は絵画・写真・書・彫刻等の工芸品九十五点が会場狭しと飾られ、力作が多く展示されておりました。東京出雲崎会からは写真で紹介の通り中川栄吉氏の「書」と石井誠・岡田齊両氏の「写真」吉水弘志氏の「彫刻」が展示されました。

「全国良寛会」総会に参加して

内藤 久吉

第二十二回全国良寛会・出雲崎大会が、九月二十四日、二十五日と開催され、参加して来ました。

全国から約六百名が参加、生誕地ならではの多勢の会員が集まりました。

平成八年以来、九年ぶり三回目、メッカなればこそその盛大なものでした。

町を挙げての総力戦で全町民の方々一杯の多彩な内容と歓迎ぶりで、参加会員の皆様大変に歓迎されておりました。

実行委員長の佐藤新次郎（良寛景慕会々長）さんは「出雲崎での開催を名誉に思う。出雲崎で多くのことを学び、各地へお



盛況だった良寛会出雲崎大会

持ち帰り願いたい。」と開会挨拶されました。全国良寛会の斉藤信夫会長は「出雲崎は良寛さんが生涯にわたり思い続けた町です。この出雲崎で良寛さんの思いを満喫して欲しい。良寛景慕会、出雲崎町の尽力のおかげで盛大に開催できることを嬉しく思います」と話された。町長は「全国からの皆様を歓迎します。良寛、芭蕉をはじめ、数々の文化遺産に改めて光を当て、町の発信を進めたい」と歓迎挨拶を述べられた。

新会長に長谷川義明・前新潟市長を選出、新会長は「良寛さんは学べば学ぶ程奥が深い。そこには安らぎと幸せがある。良寛さんを学ぶことによる幸せの輪を全国に広げていきたい」と話された。

尚次期開催は弥彦村が決まった。記念講演は京都大学の哲学者梅原猛名誉教授が「良寛の芸術と仏教」と題して講演され「学問すればする程に素晴らしい。大変な人だと思ふ様になった。孤絶の人であり、童心の人だった。良寛の芸術は仏教そのもので、仏教の表現手段が芸術だったと言える。托鉢をして、寒い冬を暮した。ストイックな方法は道

元を超えていっているのではない。常不輕菩薩の事を詠んだ詩があるが果しなく澄んでいる純真さは良寛そのものだ。仏教が空洞化する江戸時代にも、偉大な精神を持ち続けたという点で立派である」と話された。

深い感銘を受けました。
更に良寛さんに学び、もっと勉強していきたい所存です。
焚くほどは
風がもて来る
落ち葉かな

「良寛と子守」

六月歌舞伎座公演 夜の部

常磐津。昭和四年帝劇初演。作詞坪内逍遙。作曲二世常磐津文字兵衛・二世常磐津松尾太夫振付六世藤間勘十郎。十三世守田勘弥初演。有志で観劇して来ました。人間国宝、五世中村富十郎（天王寺屋）出演で、丈は昨年四月末に取材に出雲崎を訪問、良寛堂、良寛記念館にて舞踊構想を練られた上での熱演でした。子供達とのおはじき、毬つきの遊び、負けた良寛は「月の兎」の話を泣かせてしまふ。鉢の子を届けに来てくれた男の子に合掌して感謝する。所作事でした。何とも云えない仄々とした劇後感であった。良寛生誕地出身の誇りと幸せを共感出来、閉演後に皆で丈に挨拶する事が出来ました。

伝統が光る
井之鼻会

祝 平成17年11月6日設立
石井町倶楽部
石井町モン来なせやノ

越後の地酒と笹だんご

本年も総会会場では新潟の地酒と笹だんごを販売させていただきます。

新潟の地酒（主な取扱銘柄）

久保田（朝日山）	銀の翼（越の巻）
清 泉（和島村）	良 寛（美の川）

他銘酒各種取り揃えております

株式会社 **つるや**

代表取締役 荒木 啓之
出雲崎町川西58（出雲崎駅前）
電話（0258）78-2233（代）FAX（0258）78-4236

イベント豊富／ぜひお越し下さい

越後出雲崎 天領の里

〒949-4308 三島郡出雲崎町大字尼瀬6-57
TEL 0258-78-4000 FAX 0258-78-4770

《企業理念》

家づくりは
人づくり
喜びづくり
感動づくりである

日本住宅総合サービス(株)

〒136-0076 東京都江東区南砂6-11-17
TEL 03-3648-8575 FAX 03-3648-1966

生鮮海産物加工販売

今年もイベント広場に出店させていただきます

お土産に喜ばれる一品

- ★いかの白作り
- ★北前漬け
- ★鯖でんぶ
- ★鯖の親子漬け
- ★その他漬物

……お問い合わせ・お申し込みは下記まで……

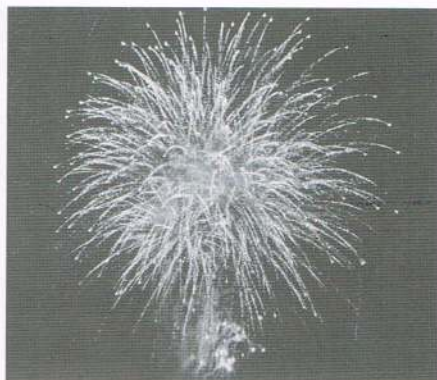
株式会社 船橋屋商店

代表取締役 三輪 浩一
三島郡出雲崎町石井町490
電話（0258）78-2041（代）

一年ぶり

花火が盛大に上がる

昨年は苦難のすえやつと花火が上がりました。一昨年は七月の災害の為、花火・おけさ流し船まつりも全て中止で火の消えたようなお盆でしたが、昨年は十四日のおけさ流しは曇り空でしたが一応開催されました。翌十五日は天候が下り坂で朝から雨まじりで少々風もあり、二年ぶりの船まつりは残念ながら中止となつてしまいました。花火はどうかと思いましたが、町内放送で午前中に中止が決まり皆さん残念がつておりました。しかしながら十六日は天気も回復し夜七時よりこれも二年ぶりの花火が上がりました。風も少しあり花火を上げるには絶好の夜となりました。



「夕渚会」では中学校卒業四十周年を記念して花火を上げました。幸いに港の岸壁の一番良い所で見る事が出来、隣には東京出雲崎会の面々も観覧されておりました。花火はいろんな所で見る事が出来ますが、この出雲崎の花火に勝る花火はないと思います。情緒があつて控えめで、一番出雲崎の人間気質に合わない所が、ちよつとビールを飲みながら、まつたりした海風に吹かれて寝転がつて見るのが、ずーといつまでも出雲崎の海と夜空に咲いて居て欲しい。(久)

還暦の 宿の女将も 我が友よ

國東(東條 国栄)

万緑の 風の中なる 五全庵

夢想子(中川 栄吉)

湯豆腐の 鍋に同居て 国訛

津山 忠夫

私心なき 人ど為りたや 良寛の 廻りし道を 訪ね學びて

秀水(小林 秀一)

夏やせて あればの思い 検診日

松本登美子

ひたすらに 破辺の波に戯れる

海藻は 想い出

ひき寄せるごと

石井 政克

歌壇俳壇

皆様の作品をお寄せ下さい(編集部)

ご紹介

ください!

東京出雲崎会では、只今、新会員を募集中です。皆様のお近くに出雲崎出身者がおられましたらご紹介下さい。特に三十代、五十代の方には参画頂きたく、皆様のご協力宜しく願ひ致します。組織委員会

平成十八年度の事業予定

- 2月4日(土) 役員会 定時総会役割分担 本年度活動方針 他 (ロッテプラザ)
- 3月11日(土) 18年度 定時総会・懇親会 (ロッテプラザ)
- 4月22日(土) 役員会 総会の結果と反省 新年度予算の審議 活動方針の審議
- 7月8日(土) 各委員会・役員会 行事参加と出費審議 諸行事報告と取りまとめ 来年度総会の打合せ
- 8月15日(火) 船まつり・花火大会(未定)
- 8月16日(水) 出雲崎町成人式(未定)
- 9月上旬 会報第9号・各委員会代表との合同会議
- 10月~11月中 会報発行準備及び原稿締め切り
- 11月18日(土) 役員会 来年度総会の件 会場案内状の件 会報9号・各行事参加報告 県人会新春祝賀会 平成18年度「新潟県人会関係」他
- 1月22日(日) 新春祝賀会 東京新潟県人会
- 2月26日(土) 新潟出雲崎会「総会」
- 5月20日(土) 東京新潟県人会「定時総会」
- 7月17日(月) 海の日 東京新潟県人会「納涼大会」
- 9月 ふる里訪問旅行会 - 東京新潟県人会
- 10月 第8回 文化祭 (県人会館)

「編集後記」

初めての編集会議に参加致しました。驚いた事に、会議は熱い討論の連続であり時間が短く感じました。

兄に促されての東京出雲崎会参加でしたが、東京に住まいして四十年余り、犀星の詩ではありませんが、故郷は遠きにありて思うもの...

日々故郷が遠のきつつあるなかでの参加、当初多少の戸惑いを覚えつつも、先輩・同級生との再会交流を始めとしてノスタルジアでなく、現実への架け橋になりました。

今後は会報を団魂世代としての視点でお届けすると共に同世

年会費の納入にご協力を!

当会が定みなく運営されるのも、皆様からの年会費が大きな役割を果たしており、心より感謝申し上げます。又、今回の定時総会に都合で欠席される方々には、お手数をお掛けいたしますが、同封の郵便振替用紙にてお振込下さいますよう謹んでお願い申し上げます。

会計委員会